

令和2年度 教育部 施策展開方針 報告書

1. まちづくり政策(教育部関係分)

政策 06 子 育 て ・ 教 育	<b>政策展開の方向性</b>																																	
	子育て環境を充実させることにより、安心して子どもを産み育てられ、就業と子育ての両立もできるまちをつくります。教育では、子どもたちが多様で変化の激しい社会を生き抜いていく力を養成することに主眼をおき、個性を尊重しつつ確かな学力の定着に努めます。安全で安心な教育環境の下で地域社会全体が連携し、次代を担う心身ともに健康な子どもたちを育てます。																																	
<b>令和2年度 of 取組状況報告</b>																																		
06-02 子どもの教育の充実																																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス感染症の拡大により、小中学校の臨時休校等の影響を受ける中、感染リスクの低減に注力して教育活動の継続に努め、児童生徒の学びの保障に取り組みました。</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症に対応する小中学校の負担軽減のため、道教委と連携し、希望校へスクール・サポート・スタッフを派遣しました。</li> <li>・ 国が進める「GIGAスクール構想」に合わせ、ICTを活用した学習活動の充実を図るため、全ての公立小中学校において、高速大容量回線の整備やタブレット端末の導入を進めました。</li> <li>・ 小学校と中学校の円滑な接続や義務教育9年間を通じた系統的な教育活動の実現に向け、小中一貫教育を全ての小中学校に導入することを目指す「江別市小中一貫教育基本方針」を策定しました。</li> <li>・ 児童生徒の確かな学力の定着のため、全小中学校への学習サポート教員の派遣や小学校の全年で外国語教育に取り組みました。</li> <li>・ 小中学校の感染拡大防止のため、学校に配置する看護師が中心となって、教職員に向けた感染症予防の啓発を行いました。</li> <li>・ 心身ともに健康な子どもたちの育成のため、大学との連携による出前授業や走り方教室の実施など、学校での体力向上の支援を継続しました。</li> <li>・ 学校における読書活動の充実を図るため、学校図書館の蔵書率向上に取り組みむとともに、学校司書の巡回配置と短期の集中的支援による図書整理などや、朝読書や調べ学習などの教育活動支援を継続しました。</li> <li>・ 教職員が心身の健康を維持しながら、より質の高い教育を実施出来るよう、教職員の働き方改革として、全小中学校に校務支援システムを整備しました。</li> <li>・ 地域に開かれた学校づくりに向けて、学校、家庭、地域の連携・協力を推進するため、学校支援地域本部事業として、学校支援ボランティアの全体的な派遣を継続したほか、「えべつ型コミュニティ・スクール」による家庭や地域の教育活動への参画を図りました。</li> <li>・ 地域社会が連携して青少年の健全育成に取り組む活動を推進するため、体験活動やボランティア活動等の機会を確保したほか、育成団体等の連携に取り組みました。</li> <li>・ 障がいのある児童生徒に対する環境整備として、特別支援学級等の施設整備を行ったほか、学校に配置する看護師が中心となり、医療的ケア児の就学機会確保に向けた支援を行いました。</li> <li>・ 様々な悩みや課題を抱える児童生徒への支援の充実を図るため、関係機関と連携した支援を行ったほか、不登校児童生徒を対象とした適応指導教室「すぼっとケア」の運営や、スクールカウンセラー等による各種相談対応を行いました。</li> <li>・ スクールソーシャルワーカーが中心となって、新型コロナウイルス感染症による差別や偏見防止に関する児童生徒への啓発や相談対応に努めました。</li> <li>・ 安全・安心な教育環境を確保し、学校施設・設備の維持保全を図るため、大麻中学校の屋外避難階段建替工事を実施したほか、「江別市学校施設長寿命化計画」に基づき、老朽化した設備の更新等を計画的に実施しました。</li> </ul> <p>※ 政策の成果指標のうち、「生きる力」が身についた児童・生徒の割合は、指標の算出根拠としている令和2年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査が中止となったことにより「-」としている。</p>																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>政策の成果指標</th> <th>単位</th> <th>(初期値)</th> <th>H30年度</th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子育て環境が充実していると思う保護者の割合</td> <td>%</td> <td>44.6</td> <td>50.0</td> <td>47.9</td> <td>51.1</td> <td>↗</td> </tr> <tr> <td>教育施策に満足している保護者の割合</td> <td>%</td> <td>78.0</td> <td>88.5</td> <td>84.1</td> <td>90.4</td> <td>↗</td> </tr> <tr> <td>「生きる力」が身についた児童・生徒の割合</td> <td>%</td> <td>81.7</td> <td>83.5</td> <td>81.9</td> <td>-</td> <td>↗</td> </tr> </tbody> </table>							政策の成果指標	単位	(初期値)	H30年度	R元年度	R2年度	目標	子育て環境が充実していると思う保護者の割合	%	44.6	50.0	47.9	51.1	↗	教育施策に満足している保護者の割合	%	78.0	88.5	84.1	90.4	↗	「生きる力」が身についた児童・生徒の割合	%	81.7	83.5	81.9	-	↗
政策の成果指標	単位	(初期値)	H30年度	R元年度	R2年度	目標																												
子育て環境が充実していると思う保護者の割合	%	44.6	50.0	47.9	51.1	↗																												
教育施策に満足している保護者の割合	%	78.0	88.5	84.1	90.4	↗																												
「生きる力」が身についた児童・生徒の割合	%	81.7	83.5	81.9	-	↗																												
教育部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況																																		
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>「学校教育基本計画」 学校の授業が分かると答えた児童生徒の割合</td> <td>%</td> <td>76.2</td> <td>76.6</td> <td>75.3</td> <td>77.0</td> <td>↗</td> </tr> </tbody> </table>							「学校教育基本計画」 学校の授業が分かると答えた児童生徒の割合	%	76.2	76.6	75.3	77.0	↗																					
「学校教育基本計画」 学校の授業が分かると答えた児童生徒の割合	%	76.2	76.6	75.3	77.0	↗																												

政策 07  生涯 学習 ・ 文化	<b>政策展開の方向性</b>						
	市民が生涯にわたって、学習・文化活動・スポーツを気軽に行える場を提供し、市民が心身ともに健やかで充実した生活を営めるようにします。また、長い歴史を持つれんが産業や文化・歴史遺産を通じて、市民のふるさと意識の醸成を図ります。						
	<b>令和2年度の取組状況報告</b>						
	<b>07-01 生涯学習の充実</b>						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の拡大により、公民館や情報図書館などが臨時休館等の影響を受ける中、社会教育施設の感染症対策を徹底して、安心して利用できる施設運営に努め、学習活動の機会を確保しました。</li> <li>市民の交流や学習活動の拠点となる社会教育施設の維持補修を実施して、良好な学習環境の維持を図るとともに、多様な学習活動の機会確保に努めました。</li> <li>社会教育施設の将来的な必要性を踏まえ、長期的な維持・管理、改修整備を計画的に進めるため、「江別市公民館等長寿命化計画」「江別市情報図書館長寿命化計画」を策定しました。</li> <li>生涯学習事業を実施する各活動団体が自立し、主体的に活動を展開していけるよう、社会教育団体への公民館施設等使用料の減免など、活動団体の安定的な運営への支援を実施しました。</li> <li>コロナ禍においても、市民が生涯学習で習得した知識や技術が地域社会に還元させ、社会参画に向けて多様な知識を得るための機会や情報を提供するため、四大学等と連携した「えべつ市民カレッジ」の実施やボランティア情報の提供を行いました。</li> </ul>						
<b>07-02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の拡大により、郷土資料館やセラミックアートセンターなどが臨時休館等の影響を受ける中、感染症対策を徹底して、安心して利用できる施設運営に努めるとともに、企画展や展示会、各種教室・講座を開催しました。</li> <li>質の高い文化・芸術を鑑賞する機会や幅広い活動の場を提供するため、市民文化ホールの照明設備等改修を実施したほか、関係団体の運営支援を行いました。</li> <li>文化財や歴史遺産を保存し、後の世代に継承していくため、埋蔵文化財等の調査を行うとともに、体験型事業等を通じてふるさと学習の機会を確保しました。</li> <li>郷土の貴重な文化財や歴史的資料の良好な保存環境を確保するため、老朽化した文化財整理室を、閉校した旧角山小学校校舎を再利用して移転することとし、必要な調査・検討を行いました。</li> <li>歴史的建造物の有効な利活用を目指し、「北海道林木育種場旧庁舎」の利活用検討を進め、民間事業者と長期貸付を締結しました。</li> </ul>							
<b>07-03 市民スポーツ活動の充実</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの感染拡大により、社会体育施設の休館や大会の中止などの影響を受ける中、感染症対策の徹底を図ったうえで安心して利用できる施設運営に努めるとともに、内容の見直し・工夫を講じながら活動機会の確保に努めました。</li> <li>社会体育施設の将来的な必要性を踏まえ、長期的な維持・管理、改修整備を計画的に進めるため「江別市スポーツ施設長寿命化計画」を策定しました。</li> <li>青少年のスポーツ環境向上のため、「はやぶさ運動広場移転に係る基本構想」に基づき、少年野球場の移転に向けて、関係機関との協議・調整、新球場の調査・設計を行いました。</li> <li>スポーツ活動の機会確保のため、大麻体育館の設備改修や各社会体育施設の維持・修繕に努めるとともに、施設管理団体と連携し、利用者アンケート等により市民ニーズを把握して、利便性向上や利用促進に取り組みました。</li> <li>学校開放事業などを通じて、幅広い年齢層に対応する活動機会を提供したほか、軽スポーツの普及促進事業、各種スポーツ教室を実施しました。</li> <li>スポーツ協会をはじめとする活動団体の支援を継続して実施し、地域や関係団体との連携によるスポーツ活動団体の活性化に努めました。</li> <li>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が令和3年度に延期されたことを受けて、オリンピックの事前合宿誘致に継続して取り組みました。</li> </ul>							
<b>政策の成果指標</b>		<b>単位</b>	<b>(初期値)</b>	<b>H30年度</b>	<b>R元年度</b>	<b>R2年度</b>	<b>目標</b>
生涯学習を通じて心の豊かさを実感している市民割合		%	33.2	29.4	29.5	24.9	↗
文化・芸術活動に参加している市民割合		%	-	23.2	26.7	22.8	↗
週1回以上スポーツ活動に親しむ市民割合		%	40.2	40.6	49.2	42.6	↗
<b>教育部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況</b>							
「社会教育総合計画」生涯学習の機会が充実していると思う市民割合		%	72.0	60.4	69.9	64.3	↗
「社会教育総合計画」文化財や歴史遺産の活用により、個性豊かな文化が育っていると思う市民割合		%	45.1	34.9	38.9	42.1	↗
「スポーツ推進計画」スポーツ機会が充足していると思う市民割合		%	76.5	62.6	70.4	65.9	↗

## 2. えべつ未来戦略(教育部関係分)

戦 略	■戦略プロジェクト 「関連事業」(担当課)
戦 略 1 にぎわいと活力を創出するまちづくり	
戦 略 2 安心して子どもを産み育てることができる まちづくり	②教育内容の充実 「小中学校学習サポート事業」(学校教育課) 「小中学校外国語教育支援事業」(学校教育課) 「スクールソーシャルワーカー事業」(教育支援課) 「医療的ケア児支援事業」(教育支援課)
戦 略 3 子どもから大人までいきいきと 健康に暮らせるまちづくり	

## 3. 教育部の資源

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
歳出決算額 (千円)	一般会計 (A)	4,332,647	2,451,252	2,267,882	2,280,931	3,911,468
	特別会計 (B)	0	0	0	0	0
	合計 (A+B)	4,332,647	2,451,252	2,267,882	2,280,931	3,911,468
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	99.00	98.00	101.00	98.00	95.00
	平均単価 (b)	7,670	7,618	7,627	7,687	7,629
	人件費 (a×b)	759,330	746,564	770,327	753,326	724,755
総 額		5,091,977	3,197,816	3,038,209	3,034,257	4,636,223